

事務事業名		戦没者追悼式開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 9 その他		事業期間		
	施策名	9 9 その他		区分		
	基本事業名	9 9 その他		単年度繰返		
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		
所属	部課名	保健福祉部地域福祉課		【開始年度】		
	課長名	藤原 秀樹		昭和60 年度～		
	係名	生活支援係	電話 0192-27-3111	事務事業区分		
	担当者	大津 泉	内線 183	E 一般		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
①事務事業の内容 市主催の戦没者追悼式(無宗教・献花方式)の開催に関する事務 ②業務の内容 式典の案内状送付、会場準備、式典の運営、後片付けなど ③事業費の内訳 祭壇用菊花代、白布クリーニング代など				総投入量 (千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
					事業費計(A)	0
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 戦没者追悼式を開催した。 ※コロナ禍による縮小開催から通常開催に戻した。	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	ア 戦没者追悼式の開催回数 回
	イ
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 戦没者の遺族	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 戦没者数 柱
	キ 遺族会会員数 人
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 戦没者を慰霊するとともに、遺族に弔意を表すために式典を開催する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 戦没者を追悼することを通じて、世界平和への認識を新たにする。	サ 式典の参列者数 人
	シ
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	345	348	358	370	370	370	
	事業費計(A)		千円	345	348	358	370	370	370	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	112	112	112	112	112	112	
		人件費計(B)	千円	448	448	448	448	448	448	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	793	796	806	818	818	818
⑤活動指標		ア	回	1	1	1	1	1		
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	柱	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100		
		キ	人	632	613	597	597	597		
		ク								
⑦成果指標		サ	人	70	70	210	210	210		
		シ								
		ス								

事務事業ID	0164	事務事業名	戦没者追悼式開催事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和60年度から市主催の戦没者追悼式(無宗教、献花方式)を行うこととなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	遺族も高齢化しており、身体の不自由な方も多く、交通手段も限られているため、今後参列者が減少していくことが考えられる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	戦没者の孫・ひ孫等が事業に参加するよう協力してもらいたいとの要望がある。 令和3年度岩手県戦没者追悼式の中で、岩手県遺族会連合会長から「遺族会事務局は行政が担うべきであることを働きかけて行く」という発言があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 意図することは、上位施策のどの項目にも該当しない。
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 第2次世界大戦の終戦から77年が経過し、式典の開催自体は、市が任意で決定すべきことであり、事業を廃止することは可能である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 戦没者の遺族を対象としており、対象が限定される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 追悼式の開催により、戦没者を慰霊するとともに、遺族に弔意を表すという成果は達成されている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 事業を廃止・休止した場合、遺族会などの関連団体から存続要望が出される可能性が大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 祭壇用菊花を造花に変更し経費削減が可能であるが、見栄えが悪くなるため変更を見送っている。 現状で祭壇用菊花等必要最低限の経費で実施しているため、事業費削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 これまで駐車場誘導係の委託や人員配置の見直しによる部内動員の廃止により人件費の削減に努めてきた。 企画運営を委託することで更なる人件費の削減はできる可能性はあるが、日程調整等市が関わる部分が一部残り効率的とはいえず、現状のまま直営が妥当であることから削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 主に戦没者遺族が参列しているが、遺族以外の一般参列も可能であり受益機会は公平・公正である。 また、受益者負担が発生する事業ではない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	遺族は高齢化しているが、依然として多くの遺族が式典に参加するので、現状どおり事業を継続する。 追悼式の運営を遺族会へ委託することは、高齢化により遺族会の運営自体大変になっていくことから難しい状況である。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	当分の間、現状どおり事業を継続する。 遺族の高齢化などの課題もあり、県内他市町村の動向を注視しながら、追悼式の在り方について今後検討する必要がある。